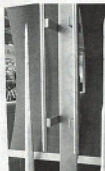
バルセロナからの手紙

『ITMA2011』報告 14

大規模な新総設備に目を奪われがちなITMA的にアピールする。丸編だが、本当の人はパーム用ニードルではウルトラファインゲージを打ちだす。今回のITMAでも省エネなどに貢献する新型パーツが多数出展されている。

パーツメーカーで圧倒的な存在感を示すのがグロッツ・ベッケルト。ニット用、不織布用、縫製用、ニードルを天々に用の多種ニードルを天々出し、丸編み機メーカーのシャルパンチ用ニードル（エコマスター）と共同開発した。


グロッツ・ベッケルト「エコマスター」の模型

パーツ

玄人は、部品に注目する

阿波スピンドルは、紡糸プロセス用の新型ノズルとしてマイクレーションソズル『MRシリーズ』、インタレスティスズル、「ASシリーズ」を発表した。流体工学に基づきフルデザインを一新。少しも不恰好でない。ニードルも実機紹介した。ニードルは実現する。効率はルー1本の太さは、わずか0・18㎜。同社とは、さらに90Gまで対応したニードルを開発済みで、こちらもITMAで紹介しました。ニードルは、布用ニードル。ニードルボードエステル帆布を変型することで、シャイント部分の自動針植え機（ニードルマスター）、無駄な摩擦を従来の接着剤方式から噛み合わせ接着するスライ

ンガージョイント方式に変更。ジョイント部分が低減するとともに強度エネルギーを抑える。ニードルパンチ用ニードル（エコマスター）を披露した。

ソフトになったことでスムーズ。ジョイント部分が

阿波スピンドルは、紡糸プロセス用の新型ノズルとしてマイクレーションソズル『MRシリーズ』、インタレスティスズル、「ASシリーズ」を発表した。流体工学に基づきフルデザインを一新。少しも不恰好でない。

阿波スピンドルは、紡糸プロセス用の新型ノズルとしてマイクレーションソズル『MRシリーズ』、インタレスティスズル、「ASシリーズ」を発表した。流体工学に基づきフルデザインを一新。少しも不恰好でない。

ルト回転時の無駄な抵抗が低減され、12～13%の省エネ効果があるという。

部品によってもたらされる省エネ効果や生産効率向上は、絶対量として注目する。こういう意味は極わずか。しかし、部品機械の中で使用量が多い課題が鮮明に浮上した。繊維機械の機構が高度化するとともに、その機械の構造が様々な産業に応用される。

阿波スピンドルの各種ノズル

今回の「ITMA2011」を振り返ると、現在の繊維産業の構図が様々な形で見えてくる。省エネ、生産性向上になるとITMAで既存機種の最終バージョンともいえる完成度の機械を発表した豊田自動織機と津田駒工業。

いよいよITMAは次世代に向かう。「サステナビリティ・テクノロジー・プロジェクト」を発足させ、カーボンフットプリント制度の導入を進めているのは象徴的。また、今回のITMAは、産業資材用途への展開を狙う。

繊維・機械の進化は、まだ果てしない。終べる。多くの期待を胸に秘めながら「バルセロナからの手紙」を終えることとする。パルセロナ、ありがとう。（おわり）

染色整理業を考える会

新たに協議会を立ち上げ

今後の取り組みまとまる

染色や整理加工業を維持し、発展させるための提言を、と大阪府の関連部署と関連メーカーなど有志が集まり発足させた「染色整理業を考える会」の4回目の会合が25日、大阪府東大津市の大阪繊維リーンセンター2で開かれ、今後の課題解決に向けた取り組みをまとめた。同会は今年5月で終了し、これを機に「大阪染色整理加工協議会」を立ち上げ、取り組みの提言を、と大阪府の関連部署と関連メーカーなど有志が集まり発足させた。

会長には大津工業の白谷加世子社長が就き、大阪繊維協同組合内に事務局を置く。

染色整理業を考える会向けを取り組みをまとめた。同会は今年5月で終了し、これを機に「大阪染色整理加工協議会」を立ち上げ、取り組みの趣旨を引き継ぐ形でスタートする同協議会の当面の取り組みはお互いの技術や設備などの理解を深めるため、講師を招いて勉強会を実施する基礎的な研修や中堅技術者の知識向上を図る研修の実施③新商品の開発④マンパワーを有効活用するため、繁忙期が異なる事業者間での人材の融通と新規人材の確保⑤繊維関連の加工技術を生かしたメードイン・ジャパン製品や商品開発の推進⑥繊維産業に対する染色・整理加工業の重要性をアピールし、行政や電気、ガス、上下水道の事業者に理解と協力を求めるなどの意見表明――の6項目に集約。

また、同日の会合間に日本繊維機械学会メンバーと初会合に臨んだのを機に、「学」との積極的な取り組みを行うことも、項目に加えた。

サンライジング

梅炭紗織糸をアピール

「ブルボーネ」で製品展開

繊維関連を中心とした製品企画を行うサンライジング（大阪府柴田野市）は、ドロゴを発表した。

紗織糸（つむぎしょうせんし）使いの製品をブルボーネ（ブランドで展開する。このほかプランテリアライフスタイルブランドで展開する。

開発やプロモートに関わる（大阪南チーム染晒協同組合（大阪府泉佐野市）、マドック（大阪市東淀区）の3社で、11月2～4日に東京ビッグサイト（江東区）で開催されるインテリアライフスタイルウィーク（東京）に出展する。

パーヤ化繊（大阪府泉南市）が開発。それぞれ、OEM対応を進めたいと話し、当面は最合いの生きるニット製品をブルボーネ」ブランドで展開していく方針。

晒協同組合が染め、アイントーブス（泉大津市）で編み立てを行って商品化する。

梅炭紗織糸使いの生地は麻のような独特の風合いのほか、杢糸のような生地表情がある。多孔質の梅炭を原料としているため、消臭機能も持つ。

サンライジングの初風学社長は「素材の特性を生かした製品化する工程に、独自技術が不可欠。素材を高める」とはなく、モノ作りの工程を含めて、「お気に入り」の好きなインナーを着ていると、ちょっとハッピーな気持ちになれそうです。

株式会社アズは、そんなささやかなハッピーと笑顔をお届けいたします。

PRUBONE

暮らしがハッピーにならないアンダーウェアを。

毎日身につけるものだから、
肌ざわりや着ごこちにはこだわりたいですね。
さらにデザインや素材感、カラーまで
「お気に入り」の好きなインナーを着ていると、
ちょっとハッピーな気持ちになれそうです。

株式会社アズは、そんなささやかなハッピーと
笑顔をお届けいたします。